

神奈川県立二俣川看護福祉高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	二俣川看護福祉高校 学校運営協議会（第1回）		
開催日時	令和元年6月21日（金）午後3時～4時40分		
開催場所	二俣川看護福祉高校 会議室		
（役職名） 出席者 〔敬称略〕	（会長） 師岡健一（校長） （副会長） 成田洋子（PTA会長） （委員） 引地孝一（神奈川新聞厚生文化事業団 監事） 大竹雅人（日本赤十字社神奈川県支部事業部長） 柏木真里子（鶴巻温泉病院 看護部副看護部長） 入江陽子（同窓会長、医療法人社団孝和会 介護老人保 健施設 能見台パトリア 看護介護部部長） （事務局） 宮地（副校長） 高木（教頭） 後藤 玉木 前田 金澤 森 池端 鈴木翠（教諭）		
次回開催予定日	令和元年10月25日（金）		
問合せ先	二俣川看護福祉高校 宮地妃佐子（副校長） 電話番号 045-391-6165（代表） ファックス番号 045-361-9777		
下欄に掲載するもの	・ 議事録		
審議（会議）経過	1 校長あいさつ 2 学校運営協議会委員紹介 3 コミュニティ・スクールについて ・ 委員委嘱 ・ 会長、副会長選任 4 「平成30年度学校評価報告書（実施結果）」 「平成31・令和元年度学校評価報告書（目標設定）」について 5 質疑応答・意見交換 ・ 全体的に「人間力」を高めるため、「人間力」を磨く機会を増やす議論があるとよいと考える。 ・ 遅刻届の活用方法はどのようにしているのか？この届け出と、合わせてメンタル面のサポートも大切だと感じるが、そのあたりはどうか活用しているのか。 →届け出を活用はじめて2年目になり、1年目は届け出をすることの定着を図ること、2年目の今年はその届け出を使ってどう指導へ活かしていくかと考えている。メンタル面のサポートでは、届け出を出すときに、担任や教科担当と話すきっかけになり、生徒の様子を様々な教員が理解する機会となってくるの		

	<p>ではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめアンケートの活用方法について →7月・12月に実施。アンケートで出てきたものはすべて確認。 ・ 卒業生の就職状況を情報収集するとよいのではないか。進路指導に向けて、実習先等での繋がりや将来の就職先での繋がり、前向きな進路へ繋がるのではないか。 →同窓会とも協力し、情報収集に努めていきたい。 ・ 防災訓練について、近隣の小中学校や、地域の方々と炊き出しの訓練や、応急処置の指導などを取り入れて実施するとよいのではないか。 →赤十字の方々と協力して、応急処置の方法を学ぶ機会を作ったり、地域の方々と協力して防災意識を高めるよう工夫していく。 <p>PTAの方々からのご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Classi を有効活用して、課題の提出メ切りや内容の確認などをできるようにしてほしい。 ・ マチコミメールをもっと活用し、日々の配付物の状況や、検定の情報や学年からのお知らせなどもっと流してほしい。 ・ 保護者の中には、専門職に対する進路や、入試の方法など知らない人が多く、教えてほしい。 →Classi、マチコミメールを今後も活用し、多くの情報を提供していきたい。 保護者の方々へ、入試についての説明の機会を設けていきたい。 <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不祥事ゼロプログラムについて副校長より説明。さらに運営協議会において、ご意見を聴取し、いかしていきたい。
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会運営計画書 ②二俣川看護福祉高等学校の概要 ③学校要覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度学校評価 ・ 平成 31・令和元（2019）年度学校評価（目標設定） ④学校案内 ⑤「平成 31 年度 f 高 授業改善の取組について」 ⑥平成 31 年度 看護科・福祉科 実習等一覧 ⑦「授業のルール」 ⑧「学校いじめ防止基本方針」「いじめ防止等対策マニュアル」 ⑨進路の手引 ⑩53 回生進路状況<看護科>・53 回生進路状況<福祉科> ⑪平成 30 年度地域貢献活動実施報告書、平成 31 年度地域貢献活動実施計画書 ⑫防災関係資料 ⑬31 年度不祥事ゼロプログラム